

令和4年度(2022年度) 省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況

令和5年(2023年)9月
経済部ゼロカーボン推進局

「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」に基づき、省エネルギーの推進や新エネルギーの開発・導入に関する令和4年度(2022年度)の取組状況を取りまとめた。

1 令和4年度(2022年度)の主な取組について

(1) 需要家の省エネルギー意識の定着と実践

◆ 省エネルギーの意識や行動の定着

○ 省エネルギー促進総合支援事業(戦略的省エネ促進事業)【経済部】

- ・ 民間事業者や家庭を対象に、省エネ行動の意義や負担軽減効果などの普及啓発を行うため、「この冬を乗り切ろう!北海道省エネ対策!セミナー」を実施。
 - ✓ 民間事業者向けセミナー(札幌市ほか全6箇所)参加人数:合計167人
 - ✓ 家庭向けセミナー(札幌市ほか全6箇所)参加人数:合計101人
- ・ 電力需要が増える夏季や冬季における節電・省エネの取組を促進する内容のリーフレット、事業者による省エネの取組事例や省エネ効果を掲載したパンフレットを作成・配布。

○ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞(省エネルギー部門)【経済部】

- ・ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。
 - ✓ 大賞:「美幌町役場庁舎におけるZEB Readyの実現」(美幌町、㈱ドーコン、北海道電力㈱)
 - ✓ 奨励賞:「建築物における省エネルギーおよび太陽光発電、地中熱利用による完全ZEB化」(ダイダン(株)北海道支店)

○ 脱炭素社会に向けた行動変容促進事業【環境生活部】

- ・ 家庭部門における道民の自発的な省エネ行動を促すため、市町村や民間企業と連携して、ナッジを活用した普及啓発の効果検証を行ったほか、運輸部門のCO₂排出削減に効果的な情報発信手法を構築するために必要な調査を実施。
 - ✓ ナッジの効果検証:2件
 - ✓ 運輸部門のCO₂排出実態調査

○ 3R連携推進事業【環境生活部】

- ・ 道内で製造加工された一定の基準を満たすリサイクル製品を「北海道認定リサイクル製品」として認定するとともに、そのうち、道内で開発した技術を用いた北海道らしい優れた製品を北海道リサイクルブランドとして認定。
- ・ 廃棄物等の発生・排出抑制、二酸化炭素の排出抑制について優良である事業所を表彰。
 - ✓ 北海道リサイクルブランド認定 新規認定:1製品 更新認定:40製品
 - ✓ 北海道リサイクルブランド 更新認定:1製品
 - ✓ 北海道ゼロ・エミ大賞 応募なし

○ CO₂排出量「見える化」事業【環境生活部】

- ・ 国との共同事業として、電気、ガス、灯油等の使用量を入力することで、家庭の CO₂ 排出量を「見える化」するアプリを作成。
- ・ 事業者の CO₂ 排出量を「見える化」する排出量ボードシステムを作成。
 - ✓ スマートフォン用アプリと PC 用 Web 版の開発 (R5.7 公開予定)
 - ✓ 排出量ボードシステムの開発 (R5.6 公開予定)

○ ゼロカーボン北海道チャレンジ！【環境生活部】

- ・ 「環境の未来について考えよう！」などの教育をはじめとした4つの重点プロジェクトを中心に、道民や事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの転換に繋がる取組を広く呼びかけ、取組の実践を促進。
 - ✓ 「北海道植樹祭」に「ゼロカーボン北海道」ブースを設置 (苫小牧、R4.5)
 - ✓ ～ゼロカーボンと私たちの未来～キックオフセミナー (札幌市、R4.6)
 - ✓ Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦！ (主催：生活協同組合コープさっぽろ、札幌市、R4.6)
 - ✓ 子ども食堂応援事業 フードドライブ (十勝管内、R4.9～10)
 - ✓ ゼロカーボンの取組を学ぶ高校生向けバスツアー (上士幌町・石狩市、R4.10)
 - ✓ 教育動画「ゼロカーボンと私たちの未来」シリーズ公開 (全5話、R5.1)
 - ✓ 全道大会「探究チャレンジ・北海道」にて「ゼロカーボン探究賞」を表彰 (全道、R5.3)
 - ✓ イベント来場者による脱炭素行動のチャレンジ宣言 (石狩管内全市町村、通年)

○ ゼロカーボン北海道普及促進事業【環境生活部】

- ・ 令和5年4月の「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」の開催を好機と捉え、「ゼロカーボン北海道」の趣旨や取組内容について、普及啓発を実施。
 - ✓ ゼロカーボンについて考えるきっかけとなる若者向けの動画をはじめ、地熱や水素製造など7分野の動画を作成・発信
 - ✓ 地域 PR イベントの企画・実施 (札幌市・函館市・帯広市・釧路市・北見市・旭川市)
 - ✓ リーフレット等の作成・配布
 - ✓ 北海道の民放5社と協力したテレビ CM の作成・放送
 - ✓ 新聞広告の掲載 (読売新聞・北海道新聞・日本経済新聞)

○ ストップ・ザ・温暖化推進事業【環境生活部】

- ・ 地球温暖化防止活動推進員 (28 名) を配置し、学習会等への講師派遣など道内各地で普及啓発を実施。
 - ✓ 派遣回数：33 回、参加人数：合計 1,140 人
- ・ 北海道クールアース・デイの取組を通じて道民、事業者への地球温暖化防止の呼びかけを実施。
 - ✓ ゼロカーボン北海道チャレンジ！への参加登録：57 団体

○ 北海道クールあいらんどキャンペーン【環境生活部】

- ・ 道内のオフィスや店舗を対象に「通気を良くしてできるだけ冷房に頼らない」、「その日の気温等に合った服装を選択する」など、自然の力を利用しながら快適に過ごす、北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。
 - ✓ 参加登録：3,738 事業所 (団体)
- ・ 道庁内の取組として「ナチュラル・ビズ・スタイル」を実施。

○ 北海道あったまろうキャンペーン【環境生活部】

- ・ 道内のオフィスや店舗を対象に「過度な暖房使用を控えながらも暖かい服装などで快適に過ごす」北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。
 - ✓ 参加登録：3,738 事業所 (団体)

○ **環境保全対策推進事業【環境生活部】**

- ・ 各（総合）振興局において、省エネ等の取組を通じた環境にやさしいライフスタイルの実践を促すガイアナイトやパネル展の開催など省エネルギーを呼びかける普及啓発の取組を実施。

○ **おうちで学ぼう！環境学習特設サイト【環境生活部】**

- ・ 総合型学習、読み物、クイズ・体験型学習の3種類に内容を整理し、親子で楽しみながら学べるコンテンツを集め、幼児から児童・生徒がおうちで学べる環境学習特設サイトを道のホームページで公開。

○ **自転車活用等促進事業【総合政策部】**

- ・ 環境負荷低減などの面で SDGs の推進に資するといった自転車の持つメリットや効果等、普及啓発に係るイベントの開催やチラシの配布。
 - ✓ イベント「もっと、自転車北海道。」体感キャラバン（全14振興局管内：R4.6～9）
 - ✓ チラシ イベント参加者や「もっと、自転車北海道。」のサポーター等へ配布

○ **様々な機会を活用した普及啓発【経済部】**

- ・ 省エネ・新エネ関連の機器や「省エネ・新エネ促進大賞受賞」企業のパネル、次世代自動車などを展示し、省エネや新エネ利活用の取組、次世代自動車などについて普及啓発を実施。
 - ✓ 省エネルギー・新エネルギー普及啓発展（札幌市 道庁1階道政広報コーナーA、R4.6）
 - ✓ 第36回北海道技術・ビジネス交流会 ビジネス EXPO（札幌市 アクセス札幌、R4.11）
総来場者数：23,857名、Web閲覧者数：9,086名
 - ✓ 2022次世代自動車 省エネ・新エネ機器展示会（札幌市 アリオ札幌、R4.11）
来場者数：1,376名
- ・ 小学生等を対象に、手回し発電機等で電気のしくみを体験できるブースを出展。併せてWEB上で、関連コンテンツを公開。
 - ✓ 2022サイエンスパーク（札幌市 札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）、R4.7）

○ **節電プログラム参加促進事業【経済部】**

- ・ 節電プログラム参加者に対し国から付与される「節電ポイント」に、道独自の上乗せ支援を行い、冬季における節電の取組を促進。
 - ✓ 冬季の節電要請（R4.12.1～R5.3.31）
 - ✓ 本事業を活用した小売電気事業者数：計17社（北海道電力（株）ほか）
 - ✓ 節電プログラム参加者数：約22.2万件

○ **ゼロカーボン北海道推進協議会「省エネルギー・新エネルギー促進部会」【経済部】**

- ・ 「ゼロカーボン北海道推進協議会」の下に設置した「省エネルギー・新エネルギー促進部会」において、省エネルギー及び新エネルギー導入の促進に関する具体的な取組等を検討。
 - ✓ 促進部会の開催：2回（R4.9、R5.1）
 - ✓ 令和4年度検討テーマ：省エネ・新エネを進める上で必要な人材の育成・確保について
第1回：省エネ・新エネ導入を進める上で必要となる人材やその育成・確保
第2回：需要家のエネルギー管理に係るツールや外部サービスの活用について

○ 「ゼロカーボンひやま」キックオフプロジェクト【檜山振興局】

- ・ 檜山地域における脱炭素化を進めるため、脱炭素化への気運醸成や地域プロジェクトの創出など各自治体の取組を支援。
 - ✓ ひやまゼロカーボンネットワークを活用した情報の横展開（随時）
 - ✓ 先行する地域プロジェクトへの集中的な支援（奥尻町、厚沢部町、せたな町）
 - ✓ 各町再エネ関係導入協議会・検討会等へのオブザーバー参加（随時）
 - ✓ SNS「サステナブル北海道檜山」（Twitter・note）のアカウント開設・情報発信（R4. 4～）
 - ✓ 庁舎電気代・CO₂排出量の月次報告 対象：振興局職員（R4. 4～）
 - ✓ ゼロカーボンパネル展 対象：小学生（檜山振興局、R4. 11）来場者：約 80 名

○ SOYA 新エネ・ゼロカーボン普及啓発プロジェクト【宗谷総合振興局】

- ・ 企業や経済団体、市町村を対象に、管内のゼロカーボンの取組を紹介するとともに、振興局の事業所としての省エネやゼロカーボンの取組を推進。
 - ✓ ゼロカーボン講演会（宗谷合同庁舎、R4. 11） 参加人数：50 名
 - ✓ 庁舎暖房ボイラー燃料低減及び CO₂ 排出抑制のため、庁舎 1 階の全窓に断熱シートを貼付（R4. 12～）

○ 十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】

[脱炭素型ライフスタイル定着促進事業]

- ・ 十勝地域における脱炭素化を進めるため、地域の住民を対象に省エネ行動などの温室効果ガス排出量削減につながる取組について普及啓発を行う。
 - ✓ パンフレット及びポスターによる発信
 - ✓ 今と未来をつなぐゼロカーボンセミナー（とかちプラザ、R5. 3）

○ 知る・学ぶ・動く ゼロカーボン北海道 in 釧路推進事業【釧路総合振興局】

- ・ ゼロカーボンへの地域住民等の理解と協力を促し、地域一体となった取組を推進するため、機運醸成を図る啓発活動を実施。
 - ✓ 小学生とその保護者向けゼロカーボンクイズをホームページ上で実施（R4. 7. 9～8. 21）
応募人数：32 名
 - ✓ パネル展（イオンモール釧路昭和 R4. 11. 1～30）来場者数約 2, 100 名

◆ 省エネルギー設備の導入とエネルギー利用の効率化

○ 省エネルギー促進総合支援事業【経済部】

[省エネルギー設備導入計画等作成支援事業]

- ・ 高い波及効果が期待される省エネルギー設備の導入を前提とした設計や導入可能性調査を支援。
 - ✓ 自然燃焼式廃油焼却装置工業規格試作品製作で普及への足掛かり事業（（一社）北海道エコ普及環づくり協会：札幌市）

[省エネルギー設備導入支援事業]

- ・ 複数事業者によるコンソーシアム形式により、高い波及効果が期待される省エネルギー設備を導入するモデル的・先駆的な取組を支援。
 - ✓ 空調設備更新と LED 照明導入による共同店舗の省エネ化（ぷらっとてついち省エネコンソーシアム：室蘭市）
 - ✓ 恵庭みどりのクリニック・ポニー調剤薬局省エネルギー設備導入事業（省エネルギー設備導入支援事業補助申請コンソーシアム：恵庭市）
 - ✓ 定山溪温泉省エネ化事業（定山溪観光協会省エネコンソーシアム：札幌市）
 - ✓ 根室市緑町商店街 LED 化事業（ねむろ下町コンソーシアム：根室市）

○ **食品産業エネルギー利用効率向上支援事業【経済部】**

- ・ 食産業分野において、エネルギーの利用効率向上に資する食品ロス削減を図るため、食品工場等における食品ロス削減等の取組実態や課題等を調査するとともに、研修を実施。
 - ✓ 研修会：全6回（札幌市・函館市 R5.1、旭川市・釧路市・帯広市・北見市 R5.2）
参加者：108名
 - ✓ 報告書の配付
- ・ 令和4年度よりゼロカーボン北海道に貢献する工夫を行う道産食品等の表彰を実施。
 - ✓ 食絶景北海道×ゼロカーボンアワード2023：大賞1品、優秀賞2品、奨励賞2品

○ **省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各（総合）振興局】**

- ・ 道総研と連携して市町村や企業等に対し、ワンストップで総合的なアドバイスを実施。
 - ✓ 相談件数（省エネ関係）：6件

○ **きた住まいる推進事業【建設部】**

- ・ 北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」と、これをはじめとする良質な住宅を道民が安心して取得できる仕組み（「きた住まいる制度」）の普及を進めるため、以下の取組を実施。
 - ✓ 事業の普及推進を目的とした有識者や関係団体等による有識者会議：7回
 - ✓ 住宅関連事業者を対象とした技術講習会：2回

○ **IT企業競争力強化促進事業【経済部】**

- ・ 道内IT企業と地域の事業者とのマッチング事例を創出し、道内事業者のデジタル化を促進。
 - ✓ マッチングイベントの開催 参加企業：延べ150社（IT企業42社、事業者等108社）
（旭川市 R4.8、釧路市 R4.10、北見市 R4.11、帯広市 R4.12、札幌市・函館市 R5.2）
 - ✓ 展示会 出展企業：2社（パシフィコ横浜、R4.11）

○ **施設園芸エネルギー転換促進事業【農政部】**

- ・ 燃油価格の高騰等へ対応するため、施設園芸に係る省エネ機器・設備等の導入を支援。
 - ✓ 冬季無加温ハウスの整備や省エネ機器・設備等の導入：62経営体

○ **農業水利施設の省エネルギー化推進対策【農政部】**

- ・ 農業水利施設の省エネルギー化を進め、エネルギー価格高騰の影響を受けにくい構造への転換を促すため、農業水利施設の省エネルギー化等に取り組む施設管理者に対し、支援金を交付。
 - ✓ 16施設（4市5町1村）

◆ **次世代自動車の積極的導入**

○ **水素社会推進事業【環境生活部】**

- ・ 北海道の豊富な再生可能エネルギーを活用した水素サプライチェーンを形成するため、道内各地域で水素・燃料電池やFCV等を広く周知。
 - ✓ 防災総合訓練においてFCVの外部給電器の接続を実施：3地域3カ所
 - ✓ イベントでのパネル展の実施やFCV等水素普及啓発の実施：8地域8カ所
 - ✓ 公用車として燃料電池自動車を導入 胆振総合振興局：2台、十勝総合振興局：1台

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】

- ・ 次世代自動車（EV, PHEV 等）の普及啓発のため、大型商業施設における展示会を開催。
 - ✓ 2022 次世代自動車 省エネ・新エネ機器展示会（札幌市 アリオ札幌、R4. 11）
来場者数：1, 376 名（再掲⇒P3）
- ・ 動画配信や雑誌を活用し、EV や PHEV を使用した日帰り旅行や急速充電施設の利用方法、非常用電源としての活用方法等を紹介。
 - ✓ poroco11 月号：「PHEV でクリーンに楽しむアウトドア」掲載
 - ✓ EV、PHEV をテーマにした動画配信
 - PHEV でクリーンに楽しむアウトドア
 - EV で「ちょっとお出かけ」
 - EV で道の駅めぐり

○ 自動運転車開発拠点化促進事業【経済部】

- ・ 自動運転を核とした実証試験の活性化、研究開発拠点の新增設による集積など、環境・エネルギー関連産業の一層の振興に向け、自動運転サービスモデル創出に向けた情報提供を実施。
 - ✓ オートモーティブワールド秋への出展 来場者数 16, 247 人、相談件数 301 件（東京都、R4. 8. 31～9. 2）
 - ✓ 先進地視察 参加企業等 6 社（茨城県、R4. 10）

◆ 道による省エネルギーの率先実施

○ 省エネルギー等率先導入推進事業 ほか

- ① 高等技術専門学院【経済部】
 - ・ 実習用機械を省電力タイプに入れ替えるとともに、学院見学会等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及・啓発を実施。
 - ✓ 苫小牧高等技術専門学院 直立ボール盤：1 台
 - ✓ 函館高等技術専門学院 パーソナルコンピュータ：21 台
- ② 地域食品加工技術センター【経済部】
 - ・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、機器利用等を通じて、エネルギー消費の多い食品製造業における省エネルギーの取組の普及啓発を実施。
 - ✓ クリーンルーム用エアコンほか：8 台
- ③ 道立工業技術センター【経済部】
 - ・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、見学会や機器利用等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及啓発を実施。
 - ✓ 紫外可視近赤外分光光度計ほか：5 台
- ④ 道立保健所【保健福祉部】
 - ・ エックス線撮影装置の入れ替えを実施。
 - ✓ 2 保健所（岩見沢、苫小牧）
- ⑤ 道立診療所【保健福祉部】
 - ・ 生化学自動分析装置の入れ替えを実施。
 - ✓ 鬼脇診療所

○ 道の率先行動推進事業【環境生活部】

- ・ 道が行う事務・事業の実施に当たり、地球温暖化対策推進法に基づく「第5期 道の事務・事業に関する実行計画」により、省資源、省エネルギーの推進など、環境に配慮した取組を実施。
 - ✓ ボイラー・空調設備の高効率化
 - ✓ エレベーターの運行の最適化
 - ✓ 昼休みの消灯、退庁時のコンセントオフ、ナチュラル・ビズ・スタイル（省エネ・節電を意識した働きやすい服装）やノーカーデー、ゼロカーボン北海道チャレンジ等の実践を、庁内放送や掲示により職員に向け呼びかけ

○ 空港公共事業費（LED 灯火導入）【総合政策部】

- ・ 道管理空港において、灯火のLED化を実施。
 - ✓ 紋別空港のLED 灯火導入に向けた設計

○ 道立学校施設整備事業【教育庁】

- ・ 道立学校の校舎改修と併せて、照明設備のLED化を行い、省エネルギー化を実施
 - ✓ 着工11校

（2）新エネルギーの開発・導入に係る「3つの挑戦」

【挑戦1】多様な地産地消の展開

- ◆ 地域の特性を活かした分散型エネルギーシステムの構築・展開
- ◆ 徹底した省エネルギーとエネルギーマネジメントシステムの導入

○ ゼロカーボン地域プロジェクト支援事業【経済部】

[ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業]

- ・ 新エネルギーによる発電設備と電気自動車や定置型蓄電池を組み合わせ、余剰電力の蓄電や蓄電池からの電力供給を行うエネルギー自立型施設（V2X）の構築を支援。
 - ✓ 厚真町ゼロカーボン・モビリティ事業（厚真町）
 - ✓ 釧路町 SC 構想ゼロカーボン・モビリティ事業（釧路町スマートシティコンソーシアム：釧路町）

[ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（計画等作成事業）]

- ・ 地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための詳細設計・工事を進める上で根幹となる計画の策定、計画策定のための調査や検討会開催等を支援。
 - ✓ 小清水町再生可能エネルギー導入目標策定事業（小清水町）
 - ✓ 厚真町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画策定事業（厚真町）
 - ✓ 苫小牧市再生可能エネルギーゾーニング検討事業（苫小牧市）

[ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（構築事業）]

- ・ 地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための設備導入や実施設計を支援。
 - ✓ あばしり電力株式会社 太陽光発電所及び蓄電システム設置工事業（あばしり再生可能エネルギー推進コンソーシアム：網走市）
 - ✓ 釧路市阿寒町におけるゼロカーボン・ビレッジ構築事業（阿寒ゼロカーボン・ビレッジコンソーシアム：釧路市）
 - ✓ 松前町における風力発電設備及び太陽光発電設備を活用する地域マイクログリッド構築事業（東急不動産と松前町によるマイクログリッド事業共同体：松前町）

○ 新エネルギー導入促進支援事業【経済部】

[新エネルギーコーディネート支援]

- ・ 地域新エネルギー導入コーディネーターを配置し、新エネ導入の検討段階にある市町村等への派遣により、事業の掘り起こしから事業・収支計画の策定、実施までを支援。
 - ✓ コーディネーターを 35 市町へ派遣し支援

[エネルギー地産地消セミナー]

- ・ 地域マイクログリッドに加えて、「畜産バイオマス」、「中小水力・地中熱」、「木質バイオマス」、「太陽光」の新エネルギーにおける最新の動向や取組事例を紹介。
 - ✓ 全 4 回（帯広市・苫小牧市・旭川市・札幌市 R4. 11）

○ 新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】

[新エネルギー設計支援]

- ・ 地域が主体となっていく新エネルギー設備の設計を支援
 - ✓ 弟子屈小学校校舎及び体育館の温泉熱利用暖房設備への変更工事に係る設備設計事業（弟子屈町）
 - ✓ 豊浦町地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業（豊浦町）
 - ✓ 秩父別町地域マイクログリッド構築事業（秩父別町）
 - ✓ ニセコミライにおける太陽光自家消費システムの設計（ニセコミライコンソーシアム：ニセコ町）
 - ✓ 鶴居中学校校舎の大規模改修に伴う地中熱利用冷暖房設備設計事業（鶴居村）
 - ✓ 弟子屈町立川湯保育園地中熱設備導入事業（弟子屈町）

[新エネルギー設備導入支援]

- ・ 地域が主体となっていく新エネルギー設備の導入を支援
 - ✓ JR 学園都市線新駅 駅前広場への地中熱を活用したロードヒーティング導入事業（当別町）

[地熱井掘削支援]

- ・ 地域が主体となっていく小規模地熱発電や熱利用での活用を目的とする地熱井の掘削を支援
 - ✓ 地熱資源活用型農業推進事業におけるエネルギーシェア事業（伊達市）

○ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞（新エネルギー部門）【経済部】

- ・ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。
 - ✓ 大賞「農業残さによる循環型熱利用システムを活用した農業の実践と社会実装の実現」（北王コンサルタント(株)：帯広市、北王農林(株)：幕別町）
 - ✓ 奨励賞「北海道千歳工場の省エネ化と PPA モデル導入による太陽光発電力の活用」（キリンビール(株)北海道千歳工場：千歳市）
 - ✓ 奨励賞「平田内川水力発電所での産官連携による取組」（八雲水力発電(株)：八雲町）

○ 地域脱炭素合意形成支援事業【環境生活部】

- ・ 市町村の脱炭素化を促進するため、専門人材等を派遣し、地域脱炭素の進捗度に応じた主体的な取組（計画策定や合意形成等）を支援。
 - ✓ 地域脱炭素の方針となる「地球温暖化対策実行計画区域施策編」策定のための市町村職員向け勉強会 全 4 回（R4. 9～R5. 1 Web 開催） 参加市町村：241 市町村（延べ）
 - ✓ 地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定を目指す市町村へ専門家を派遣し、計画策定に関し助言 5 市町村（各 5 回以上の協議を実施）
 - ✓ 地域資源の地産地消に関するプロジェクトの合意形成を支援 1 件（3 回の協議）

○ 北の住まいるタウン推進事業【建設部】

- ・ 北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の推進を図るため、以下の取組を実施。
 - ✓ 「北の住まいるタウン」の普及啓発のためのパネル展 (R4.8) 来場者：214名
 - ✓ 事例見学ツアー (江別市・室蘭市 R4.10) 参加者：43名 (江別20名、室蘭23名)
 - ✓ まちづくりメイヤーズフォーラム (オンライン併用 R4.11) 参加者：389名
 - ✓ まちづくりセミナー (オンライン R5.2) 参加人数：66名
 - ✓ まちづくり交流会 (オンライン R5.2) 参加人数：33名
 - ✓ 『北の住まいるタウン』実践ガイドブック (WEB版)の更新

○ 地域新エネルギー導入アドバイザー制度【企業局】

- ・ 電気や工業用水の事業運営で蓄積してきた知識や経験をもとに、小水力発電導入候補地点の現地調査や可能性検討及び提案など、技術や経営に関するアドバイスを実施。
 - ✓ 10件 (4市5町1村)
- ・ 「小水力発電導入に関する現地研修会」を実施 (オンライン開催)。
 - ✓ 参加者：28名 (13市町村18名、知事部局10名)

○ 省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各(総合)振興局】(再掲⇒P5)

- ✓ 相談件数 (新エネ関係)：73件

○ ゼロカーボン北海道推進協議会「省エネルギー・新エネルギー促進部会」【経済部】(再掲⇒P3)

- ✓ 令和4年度検討テーマ：省エネ・新エネを進める上で必要な人材の育成・確保について
 - 第1回：省エネ・新エネ導入を進める上で必要となる人材やその育成・確保策
 - 第2回：需要家のエネルギー管理に係るツールや外部サービスの活用について

○ 地域省エネルギー・新エネルギー導入推進会議【経済部、各(総合)振興局、】

- ・ 市町村担当者、地元金融機関 (必要に応じ企業、団体などの担当者) 及び道関係部局による情報共有のため、全道14総合振興局・振興局で導入推進会議を開催。(R4.9~10)
 - ✓ 令和4年度テーマ「地域におけるエネルギー人材の育成・確保について」

○ 「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクションー2022ー【胆振総合振興局】

- ・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成の取組を実施。
 - ✓ TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー (苫小牧市 R5.3) 参加者：約120名
 - ✓ FMラジオやSNSによる情報発信 FMラジオ：7回 SNS：61回

◆ 需要家それぞれによる新エネルギーの活用

◆ 新エネルギーを活用した熱利用の推進

○ 新エネルギー導入促進支援事業【経済部】(再掲⇒P8)

○ 新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】(再掲⇒P8)

○ 地域新エネルギー導入調査総合支援事業【経済部】

[地域新エネルギー導入加速化調査支援事業]

- ・ 地域が行う新エネルギー導入のための事業可能性調査や実証実験を支援。
 - ✓ 市役所本庁舎建設に係る地中熱設備導入調査事業 (登別市)
 - ✓ 紋別市再生可能エネルギー熱利用調査 (地中熱応答試験) (紋別市)

[地熱資源利用促進事業]

- ・ 地域が行う地熱発電や温泉熱利用を目的とした地熱井等の調査を支援。
 - ✓ 弁景温泉資源量調査委託事業（壮瞥町）
 - ✓ 温泉施設から供給される温泉熱を活用した事業に向けた地熱資源調査事業（江差町）

[地熱・温泉熱アドバイザーの派遣]

- ・ 専門家を地域に派遣し、技術的・専門的な指導や助言等を実施。
 - ✓ 派遣先：8町（弟子屈町、壮瞥町、上川町、豊富町、八雲町、せたな町、羅臼町、音更町）

○ 木質バイオマスゼロカーボン推進事業【水産林務部】

- ・ 木質バイオマスボイラーの導入支援や林地未利用材の効率的な集荷に向けた技術研修を実施し、木質バイオマスのエネルギー利用を促進。
 - ✓ 道内の自治体や民間企業向けに「木質バイオマスボイラー導入ガイド」を発行
 - ✓ 林業事業者等を対象にした林地未利用材集荷・搬出技術セミナー（足寄町・士別市・芦別市 R4.12）参加者：122名（会場46名・オンライン76名）
 - ✓ 市町村等を対象にした木質バイオマスボイラー導入セミナー（知内町 R4.12、様似町・紋別市 R5.1）参加者：82名（会場53名・オンライン29名）

○ バイオマス利活用推進事業【環境生活部】

- ・ バイオマス利活用の推進に向けた道民や事業者等の機運醸成を図るため、フォーラムの開催やメールマガジンの配信を実施。
 - ✓ 事例報告・検討会、バイオマスネットワークフォーラム（札幌市 R5.1）参加人数：276名
 - ✓ バイオマス利活用に関するメールマガジンの配信 11回

○ 地域バイオマス利活用促進事業【環境生活部】

- ・ バイオマスを活用したグリーン社会の実現に向けて、バイオマス利活用の高度化に必要な事業化の推進や効果促進対策及び施設整備を支援。
 - ✓ バイオマス地産地消施設の導入に係る調査・設計等の実施（江別市）
 - ✓ バイオマス地産地消施設の整備（津別町、湧別町、西興部村、豊頃町）

○ 林業・木材産業構造改革事業【水産林務部】

- ・ 木材の生産から流通・加工に至る総合的な国産材の供給体制を形成するため、公共施設の木造・木質化や木質バイオマスの供給・利用施設の整備等に対して総合的に支援。
 - ✓ 移動式チップパーの導入（むかわ町、幌加内町、津別町）
 - ✓ 木質資源利用ボイラーの導入（遠軽町）

○ 太陽光発電及び蓄電池システム共同購入事業【環境生活部】

- ・ 家庭部門等を対象に道と協定を締結した事業者が事務局となり、太陽光発電システム及び蓄電池の購入希望者を広く募り、共同購入によるスケールメリットを活かした効果的な再エネの利用拡大を促進。
 - ✓ 対象地域：さっぽろ連携中枢都市圏12市町村、胆振復興3町
 - ✓ 参加登録：744件

○ SOYA 新エネ・ゼロカーボン普及啓発プロジェクト【宗谷総合振興局】（再掲⇒P4）

- ・ 企業や経済団体、市町村を対象に、管内の新エネ関連施設を見学するバスツアーとゼロカーボンの取組を紹介する講演会を開催。
 - ✓ 新エネ関連施設（5カ所）見学バスツアー（宗谷管内 R4.11）参加人数：43名
 - ✓ ゼロカーボン講演会（宗谷合同庁舎 R4.11）参加人数：50名（再掲⇒P4）

○ 十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】(再掲⇒P4)

[脱炭素型ライフスタイル定着促進事業]

- ・ 管内の高校生を対象に、上士幌町の畜産バイオマスを活用したエネルギー地産地消のまちづくりを進める施設等の見学会を開催。
 - ✓ 十勝管内ゼロカーボン関連施設見学会（上士幌町 R4. 10）参加人数：12名

[再生可能エネルギー利活用促進事業]

- ・ 十勝の優位性を発揮するバイオマスや大型太陽光発電、次世代自動車等についての普及啓発とエネルギー消費量の大きい事業者への人材育成支援を実施。
 - ✓ 十勝次世代自動車研究会の運営（R4. 6、R5. 1）EV普及啓発動画の制作（R4. 10）
 - ✓ 親子で学ぼう！再生可能エネルギー教室（帯広市 R4. 7）参加人数60名
 - ✓ 大規模需要家におけるカーボンニュートラル推進人材育成のための専門家派遣（R4. 12）派遣先数：2社
 - ✓ 民間事業者向け脱炭素ミニセミナー（帯広市 R5. 3）来場者数：35名
 - ✓ ワインとチーズとゼロカーボン座談会（帯広市 R5. 3）参加人数：14名

[オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業]

- ・ 木育イベント等において、ペレットストーブや薪ストーブを展示するとともに、薪割り体験や木工教室も開催し、木材に触れることを通じて木質燃料の普及啓発を実施。
 - ✓ 木の暖房フェスタ（帯広市 R4. 8）来場者数：300名
 - ✓ 十勝圏域木育フェスタ（豊頃町 R4. 10）参加者：80名

◆ 「エネルギーの地産地消」を支える技術や制度の普及

○ (地独) 北海道立総合研究機構における新エネルギー関係の研究開発と技術支援【総合政策部】

- ・ 地域におけるエネルギー地産地消の取組を促進するため、新エネルギーを有効に利活用できる技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

[研究テーマ]

- ✓ 地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装（産業技術環境、建築、森林研究本部）
- ✓ 未利用農業用廃プラスチックの地域内燃料利用モデルの構築（産業技術環境研究本部）
- ✓ 地熱開発における効果的・効率的な電磁探査手法の構築～屈斜路湖カルデラ南東域～（産業技術環境研究本部）
- ✓ 温泉に付随する可燃性天然ガスの活用に向けた情報基盤の構築（産業技術環境研究本部）
- ✓ 地熱・温泉資源の開発・利活用促進にむけた「技術支援ツール」の開発～北海道南西部をモデル地域にして～（産業技術環境研究本部）
- ✓ 再エネ需給調整用制御ロジックの最適化に向けた研究（産業技術環境研究本部）
- ✓ 農林残渣を利用した粗砕燃料の燃焼特性に関する基礎的研究（産業技術環境研究本部）

◆ 道の新エネルギーの率先導入

○ 道有施設の新エネ導入・省エネ加速化事業

① EVやFCVの導入等【環境生活部】

- ・ 公用車の次世代自動車化に向けたEV車と太陽光発電設備の導入、地域住民へのカーシェアリングの試行やFCVの導入を実施。
 - ✓ 燃料電池自動車の導入（胆振総合振興局：2台、十勝総合振興局：1台）（再掲⇒P5）
 - ✓ 電気自動車及び太陽光パネル付カーポートの導入（渡島総合振興局3台・12.3kW、檜山振興局：2台・10.25kW）
 - ✓ 充放電設備（V2B）の併設（渡島総合振興局、檜山振興局）

② 太陽光パネルの設置等【環境生活部】

- ・ 道有施設を対象に施設の耐荷重や自家消費に適した設備規模等の調査を実施。
 - ✓ 太陽光発電設備導入可能性調査 対象：60施設

③ 栽培漁業羽幌センター【水産林務部】

- ・ 栽培漁業羽幌センターにおける太陽光発電や風力発電の導入可能性調査を実施。
 - ✓ 設置時の予想発電量 太陽光発電：30万kWh/年、風力発電：8万kWh/年

④ 北海道消防学校【総務部】

- ・ 公共施設におけるZEB化推進のモデルとして北海道消防学校の改築をZEBとして整備。
 - ✓ 太陽光パネル 発電出力：64kW
 - ✓ 高断熱化 CO₂削減量：134.9t/年

⑤ 愛別ダム【建設部】

- ・ 長期停電時においても電力を確保し、適切なダム管理を行うための管理用水力発電設備を整備。
 - ✓ 令和4年度工事施工完了

○ 企業局における可能性調査【企業局】

- ・ 水力や太陽光、地熱などの電源開発の可能性について、調査・検討を実施。
 - ✓ 可能性調査委託：3件

【挑戦2】「エネルギー基地北海道」の確立に向けた事業環境整備

◆ 洋上風力発電をはじめとする大規模新エネルギーの開発・導入に向けた環境の整備

◆ 送電インフラ整備などの国への働きかけ

○ 洋上風力発電導入加速化事業【経済部】

- ・ 再エネ海域利用法に基づく促進区域指定（有望区域選定）に向け、地元で進められている合意形成を支援するために住民説明会等を開催したほか、洋上風力発電の導入拡大に向け、必要となる人材の育成・確保や、関連産業への道内企業参入のために必要な知識やスキル等に関する「道内企業参入促進全道セミナー」を開催。
 - ✓ 漁業従事者向け勉強会 石狩市厚田区（R4.12）
 - ✓ 地域住民向け勉強会 神恵内村、せたな町、島牧村、松前町（R5.2）
 - ✓ セミナー 札幌市・オンライン同時配信（R5.2）

○ 国への要望

- ・ 国に対し、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた電力基盤の増強、洋上風力発電の早期導入に向けた環境整備、地域との関わりが深い再エネの導入促進、地域の実情に応じた固定価格買取制度の運用などについて要望。
 - ✓ 令和5年度（2023年度）国の施策及び予算に関する提案・要望（R4.5）
 - ✓ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた要望（R4.7、11）

◆ 水素の有効活用に向けた基盤整備

○ 水素関連産業化促進事業【経済部】

- ・ 本道における水素関連産業の形成促進を図るため、国の実証事業誘導や道内企業の参入促進に向けた取組を推進。
 - ✓ 水素ビジネスへの取組の動機づけから事業化への可能性検討など、参入に向けた取組の段階に応じたサポート：道内企業 22 社
 - ✓ 水素関連産業に関する取組意欲の向上やステップアップを目指すための地域勉強会：6 回
 - ✓ 展示イベント出展による道内企業への水素産業参入や水素利活用に向けた理解促進

○ 水素社会推進事業【環境生活部】（再掲⇒P5）

- ✓ 北海道水素イノベーション推進協議会及び北海道地域づくりプラットフォーム勉強会合同会議を北海道開発局と合同開催（R5.3）
- ✓ 防災総合訓練において FCV の外部給電器の接続を実施：3 地域 3 カ所（再掲⇒P5）
- ✓ イベントでのパネル展の実施や FCV 等水素普及啓発の実施：8 地域 8 カ所（再掲⇒P5）

○ 「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクションー2022ー【胆振総合振興局】（再掲⇒P9）

- ・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成、水素の利活用促進の取組を実施。
 - ✓ TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー（苫小牧市 R5.3）参加者：約 120 名（再掲⇒P9）
 - ✓ 水素関連施設の視察（室蘭市 R5.2）参加者：38 名

◆ 新たな技術の開発・活用

○ カーボンニュートラル加速化先導モデル構築事業【経済部】

- ・ 省エネと新エネ、CO₂を排出しない水素など次世代のエネルギーとの最適な組み合わせによる企業活動の脱炭素化に向けたモデルプランの作成を支援。

- ✓ モデル 1：製造業（日糧製パン(株)）運用改善による省エネや再エネ導入による CN 化検討
- ✓ モデル 2：宿泊業（鶴雅 HD(株)）施設・設備の省エネ化や排熱利用等による CN 化検討

（地独）北海道立総合研究機構における省エネ・新エネ関係の研究開発と技術支援【総合政策部】（再掲⇒P11）

- ・ 省エネルギー・新エネルギーに関連する技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

[省エネルギー関係研究テーマ]

- ✓ 地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装（産業技術環境、建築、森林研究本部）（再掲⇒P11）
- ✓ 自己熱再生による省エネルギーシステムの研究（産業技術環境研究本部）
- ✓ 再エネ需給調整用制御ロジックの最適化に向けた研究（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P11）
- ✓ ベンチスケールの排熱利用・蓄熱システムの構築（産業技術環境研究本部）
- ✓ 熱源機器の効率的な運用に向けた部分負荷効率の測定法の開発（建築研究本部）
- ✓ 断熱改修が室内温熱環境およびエネルギー消費量に与える効果の見える化（建築研究本部）
- ✓ ゼロカーボンの実現に向けた北方型住宅に関する研究（建築研究本部）

[新エネルギー関係研究テーマ]（再掲⇒P11）

【挑戦3】省エネルギーの促進や新エネルギーの開発・導入と一体となった環境関連産業の振興

◆ 道内企業の参入に向けた関連市場の拡大

◆ 環境関連産業への国内外からの投資の促進と道内企業の参入

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】（再掲⇒P6）

- ・ 道内企業の環境・エネルギー分野への参入促進を図るため、環境・エネルギービジネスセミナー開催。
 - ✓ 札幌市・オンライン同時配信（R5.1.25）、会場参加：43名・オンライン参加：113名
- ・ 「ENEX2023・第47回地球環境とエネルギーの調和展」へ北海道ブースを出展し、道内企業の優れた技術や製品を道内外に広くPR。
 - ✓ 東京都内（R5.2.1～2.3）：出展道内企業：16ブース（19社）来場者数：3,018名
 - ✓ オンライン開催（R5.1.4～R5.2.28）：出展道内企業：16ページ（19社）
資料DLアクセス：353回、HP閲覧数：4,888名

○ 企業立地促進費補助金【経済部】

- ・ 北海道産業振興条例に基づく助成措置において、成長産業分野の対象業種として新エネルギー供給業（風力やバイオマス等をエネルギー源とした発電事業）に対し補助金を交付
 - ✓ 交付先：2件

○ 環境負荷低減型産業集積・人材育成事業【経済部】

- ・ 企業誘致セミナーの開催や展示会への出展、グリーン・デジタルやビジネス分野に精通する専門家による企業訪問などにより、本道の立地優位性を活かした誘致活動を実施。
 - ✓ 誘致セミナー：全3回（東京都 R4.9、大阪市 R5.2、名古屋市 R5.2）
 - ✓ 展示会出展：メッセ名古屋（名古屋市 R4.11）、スマートエネルギーWeek（東京都 R5.3）

○ データセンター集積推進事業【経済部】

- ・ データセンター立地適地としての北海道をPRする北海道データセンターセミナーを道外で開催
 - ✓ 東京都（R4.11）参加人数：257名

○ 中小企業総合振興資金貸付金【経済部】

- ・ 北海道の制度融資である中小企業総合振興資金に、省エネ・新エネ、環境負荷の低減を図る施設等の導入や省エネ・新エネ、環境産業に係る新技術等の事業化などを対象とした融資枠メニューを設定。
 - ✓ ライフステージ対応資金「ステップアップ貸付【政策サポート】（環境・エネルギー）」

◆ 技術・製品開発、販路開拓・拡大の推進

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】（再掲⇒P6、14）

[出展支援]（再掲⇒P14）

[技術・製品開発支援]

- ・ 省エネや新エネに関する製品・技術の開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会への出展等の取組を支援。
 - ✓ 太陽熱システム組合せによる地中熱ヒートポンプの新しい採熱工法の検証事業（太陽熱システム組合せによる地中熱ヒートポンプ利用拡大事業コンソーシアム：石狩市）
 - ✓ 再生可能エネルギーを利用した大規模工場における冷暖房システムの開発（国策機工株式会社：苫小牧市）

○ **ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業【経済部】**

- ・ 道内ものづくり産業の生産性向上及び競争力強化のため、脱炭素・DXを推進するセミナー等を開催するとともに、アドバイザーによる技術指導や展示会の開催などにより次世代自動車等の環境配慮型産業への販路拡大、人材育成等への取組を支援。
 - ✓ セミナー・相談会（札幌市 R4.11）セミナー参加者：198名、相談企業：11社
 - ✓ マッチング会（道央圏、道北圏、道南圏、十勝圏 R4.7～R5.2）
 - ✓ 専門家派遣：16社
 - ✓ 合同展示会（愛知県 R5.2）

(参考)

省エネルギーの実績

(令和2年度実績)

区分	エネルギー消費原単位指標	単位	H22年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	目標	基準年に対する増減			目標
			(2010)基準年A	(2015)実績B	(2016)実績B	(2017)実績B	(2018)実績B	(2019)実績B	(2020)実績B		R2年度C	R2(2020)目標C-A	実績B-A	
産業部門	(農業粗生産額+漁獲高+製造品出荷額)当たり産業部門エネルギー消費量(2015年基準:実質値)	GJ/百万円	44.6	38.5	39.9	41.4	38.6	33.0	30.4	40.3	-4.3	-14.2	132.6%	29.6
家庭部門	人口1人当たり家庭部門エネルギー消費量	GJ/人	27.2	26.8	28.5	28.4	26.6	28.8	25.7	23.7	-3.5	-1.5	92.4%	-
業務部門	業務床面積1㎡当たり業務部門エネルギー消費量	GJ/㎡	3.2	3.2	2.6	2.5	2.6	2.5	2.3	2.9	-0.3	-0.9	124.9%	2.1
運輸部門	自動車保有台数1台当たり運輸部門エネルギー消費量	GJ/台	57.1	57.6	56.6	57.3	56.6	55.9	47.5	46.7	-10.4	-9.6	98.4%	42.60

新エネルギーの導入状況

【発電分野】
設備容量(万kW)

区分	H29度実績	H30度実績	R1年度実績	R2年度実績	R3年度実績 a	対前年	R12年度目標 b	達成率 a/b
太陽光(非住宅)	116.9	136.7	173.1	191.5	199.8	8.3	269.5	74.1%
太陽光(住宅)	16.1	17.1	18.1	19.3	20.5	1.2	35.4	57.9%
陸上風力	38.6	44.3	50.5	54.8	59.4	4.6	184.6	32.2%
洋上風力	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	150.9	0.1%
中小水力	82.3	82.4	82.8	83.2	85.4	2.2	92.7	92.1%
バイオマス	11.9	12.8	13.8	14.1	25.2	11.1	55.8	45.2%
地熱	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0	11.0	23.1%
廃棄物	24.3	24.1	24.2	24.1	24.1	0.0	24.1	100.2%
合計	292.7	320.0	365.1	389.6	417.1	27.5	824.0	50.6%

注)・太陽光の非住宅は出力10kW以上、住宅は出力10kW未満のもの。
・陸上風力について、リプレース中の設備はリプレース前の容量を据え置いている。

発電電力量(百万kWh)

区分	H29度実績	H30度実績	R1年度実績	R2年度実績	R3年度実績 a	対前年	R12年度目標 b	達成率 a/b
太陽光(非住宅)	1,416	1,608	2,096	2,474	2,809	335	3,140	89.5%
太陽光(住宅)	189	195	213	238	280	42	400	70.0%
陸上風力	881	1,001	1,019	1,609	1,310	-299	4,188	31.3%
洋上風力	3	2	1	2	3	1	3,965	0.1%
中小水力	3,386	3,917	3,159	3,398	3,385	-13	4,133	81.9%
バイオマス	567	731	813	821	1,621	800	2,811	57.7%
地熱	149	146	129	129	113	-16	629	18.0%
廃棄物	1,329	1,011	1,356	1,395	1,599	204	1,189	134.4%
合計	7,921	8,611	8,786	10,065	11,120	1,055	20,455	54.4%

【熱利用分野】
熱量(TJ)

区分	H29度実績	H30度実績	R1年度実績	R2年度実績	R3年度実績 a	対前年	R12年度目標 b	達成率 a/b
バイオマス	4,217	4,150	4,242	4,235	4,517	282	8,078	55.9%
地熱	2,464	2,443	2,431	2,565	2,613	48	3,561	73.4%
雪氷冷熱	45	45	45	46	46	0	65	70.8%
温度差熱	2,188	2,198	2,326	2,445	3,083	638	2,692	114.5%
太陽熱	9	9	8	8	8	0	9	88.9%
廃棄物	6,009	5,868	5,526	5,252	5,375	123	6,555	82.0%
合計	14,932	14,713	14,578	14,551	15,642	1,091	20,960	74.6%

環境関連ビジネス実施企業割合

環境関連ビジネスを実施する企業の割合	R2年度	R3年度	R4年度	目標
	割合	10.4%	12.5%	16.9%
対前年増減	-	2.1	4.4	

◆ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】補助指標の進捗状況

項目		実績			
		R3	R4		
部門別	産業・業務	省エネルギー法の定期報告に基づく事業者クラス分け評価Sクラスの割合	50.4%	49.9%	
		ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の新築件数	6件	8件	
	家庭	家庭用灯油の世帯当たり購入量	887ℓ	808ℓ	
		省エネ基準を満たす住宅ストックの割合	22.6%	—	
	運輸	次世代自動車保有台数	363,575台	—	
		EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)の充電等インフラ設置数	773か所	784か所	
	地域	新たに新エネルギー導入に取り組む市町村数	公共施設への導入	4	—
			補助制度	6	—
			出資	1	—
			整備計画策定等への参画	5	—
地域マイクログリッド構築に取り組む市町村数 (※経済産業省「地域マイクログリッド構築支援事業」を活用し取組を進めている市町村)		5	5		
基盤整備	洋上風力発電の導入実績 (「再エネ特措法に基づく認定量」)	0	0		
環境関連産業	道外展示会における道内企業の出展数、 商談件数	出展数 (WEBを含む)	25件	38件	
		商談件数	13件	73件	
その他	コージェネレーションシステム(エネファーム)の導入状況 (販売台数)	132台	149台		

表中「—」の箇所は、令和4年度実績が未公表、未集計